

㊦ 最終報告書

国際交流センター長殿

2020 年 04 月 20 日

O I U 学籍番号	G17087	氏 名	SEM WAL SAGAR
国 名	シンガポール	留学先	ナンヤンポリテクニク
留 学 期 間	2019 年 10 月 08 日 ～ 2020 年 03 月 07 日		

交換留学が終了しましたので、以下のとおり報告いたします。

記

受講科目	受講期間	週当たり授業時間	取得単位数
Entrepreneurship	2019年10月14日-2020年2月10日	3時間	3
Digital Marketing	2019年10月14日-2020年2月10日	3時間	3
Preparatory English	2019年10月14日-2020年2月10日	2時間	2
International Freight Management	2019年10月14日-2020年2月10日	4時間	4
Customer Experience Management & Design	2019年10月14日-2020年2月10日	4時間	4

履修・教務、学習面について

履修・教務についてです。

NYPでは履修登録はWEBで行うようになっています。ビザを取得した後NYPの留学担当者から履修申請のガイドラインと科目のリストを頂きます。それに従って履修申請を行うことになります。NYPでは履修登録は2回を行われています。まず1回目はシンガポールに行く前に自分の好きな科目を登録ができます。2回目は、シンガポールに着いてからもしかして追加した科目をまた取り消したい科目があれば学期が始まってから1週間以内に調整することができます。科目を選択する際に科目リストを参考にして科目内容を確認してから登録する事が大事だと思います。なぜかというところ多くの科目では前提条件があります。前提条件が付いている科目に関しての専門知識が必要であり、それがなければ単位を取得するのは難しくなってしまう。そういう科目を間違えて取らないようにゼミの先生と相談が必要だと思います。

または、NYPでは授業の1回目の時先生は授業の流れと課題のやり方についてガイドラインから説明してもらいます。その時点でガイドラインを理解できれば単位は簡単に取れます。なぜかというところガイドラインでは毎回授業の流れと内容または、課題のやり方、必要な参考書を説明しているからです。NYPの授業の流れ授業は大阪国際大学と違って講義とチュートリアルに分けられています。各クラスの講義に学んだ内容はチュートリアルで学生は実践することができます。そして、学生は講義で理解できなかった内容はチュートリアルで先生と個別質問をすることができます。

学習面についてです。

NYPでは学習するためにキャンパス内で様々な施設があります。図書館はとても広くてその中カフェテリアまで設置されている。交換留学のために図書館の説明会が行われている。説明会の中で図書館の基本的なルールとパソコンのIDとパスワードをもらいます。IDがあれば学生は図書館にある本はウェブから無料でダウンロードして読むことができます。

私はほぼ毎日図書館で課題をやったりとか授業の復習をしました。NYPの授業の内容のレベルは高くても論理的であった。私は毎回授業の前に知らない言葉と専門的な言葉を事前に復習してから授業に出るようにしました。なぜかというところ毎回授業の内容は関連しているから復習をしないと先生から質問を聞かれる時答えられなくて成績の評価が下がってしまう可能性があります。

生活面について

日本とシンガポールを比較するとライフスタイルにそんなに差がありません。NYPでは、キャンパス内にいくつかの最高の施設を提供しています。キャンパスは30.5ヘクタールを超える土地であり、15000人の学生と1300人のスタッフを収容出来るように構築されています。学生は日常に必要な商品はキャンパス内にある無人コンビニがあり、24時間を営業しており、好きな商品があれば簡単に手に入れることができます。さらに、NYPには4つの食堂があり、それは1日あたり15000人に対応しています。シンガポールは人種の異なる多文化社会であり、そのため、食堂は様々な食べ物が提供され、それらを楽しむことができます。

または、日用品を利用する物は全部一駅遠いにあるスーパーマーケットから購入することができます。シンガポールではFair Priceというスーパーとても人気があり、それは日本の業務スーパーと同じような値段の商品が売られています。私はFair Priceに商品を購入の際は一週間の分をまとめて買っていました。なぜかという商品を買ったら値段は安くなります。他にもシンガポールのスーパーは様々なサービスを提供しています。その中から一番便利だと思ったのは商品の配達サービスでした。それはインターネットから必要な商品を注文すれば数時間経つと商品は店から配達してもらいます。

最後は一日生活の流れについてです。私は月曜日から木曜日まで毎日3時間ぐらい授業がありました。科目によって時間がことなっただけで一番早かった授業は9時からでした。私は毎日6時ぐらいに起きてから健康のために30分キャンパス内で散歩していました。NYPのキャンパスは非常に広くて素晴らしい環境の場所にあるので外に出かける必要がなかった。その後1時間程授業に関することを勉強して学校に行きます。NYPでは全ての生徒が授業の事前に準備してからクラスに出るようにしている。なぜかというNYPでは先生達は学生に論理的に考えさせるために社会に実際に起きている問題はケーススタディのように学生に与える。だから授業の事前のケーススタディの内容を理解してクラスに出ないと先生から質問を聞かれる時答えられないと思います。

費用概算

この留学にかかった留学費用総額		約	690,798	円	
内訳	渡航・帰国費用（航空券）	約	132,180	円	
	海外旅行傷害保険	約	9,680	円	
	査証（ビザ）取得費用	約	5,400	円	
	日用品	約	2	万円/月 × 1 ヶ月	
	食費	約	3	万円/月 × 1 ヶ月	
	寮費	約	193,538	円/月 × 5 ヶ月	
	水・光熱費	約	5000	円/月 × 1 ヶ月	
	インターネット	約	5000	円/月 × 1 ヶ月	
	利用方法 学内で利用・寮で利用・インターネットカフェ				<input type="radio"/>
	複数回答可。○をつけること。				
その他（用途：	）		万円/月 ×	ヶ月	
その他（用途：	）		万円/月 ×	ヶ月	
（医療費、教科書代、現地携帯電話代などあれば）					

滞在中の経費について

基本的に私の交換プログラムでは滞在中に発生した全体的に費用、寮費、チケット、保険は全部70万円ぐらいかかりました。交換留学行く前に夏休みでバイトから20万円貯金したお金を滞在中に使いました。そして両親から受け取った残りのお金と20万円は奨学金として大阪国際大学から提供されました。デビットカードとクレジットカードはシンガポールに行く前にオンラインで準備しました。多く企業がオンラインカードサービスを提供しているのでその中からアマゾンのカードを作成した。海外では現金がなくても緊急の場合があると思うがそれが発生しないためにキャッシングサービスが付いているクレジットカードをお勧めします。また、シンガポールには両替所が沢山があるので現金がある時簡単に両替できます。しかし営業時間に制限があるので20時に大体の両替所が閉まる。シンガポールに出発する前に日本空港で1万円の両替する方が良いと思います。なぜかという

とシンガポール空港からNYPまでタクシーで移動することになるのでそこでお金を払わなければならないからです。

寮費についてです。私は約193,538円を寮費として支払いました。この金額には電気、WIFI、セキュリティ料など全ての公共料金が含まれる。ビザ手続きをクリアしてからNYPのスタッフから振り込み先の銀行口座番号を頂いてお金は海外送金することになります。私はUFJ銀行を通じてお金を送金しました。次は生活費についてです。生活費は学生次第ですがNYPの食堂は安いから一食300円ぐらいで食べられる。食費は全体で1カ月で約3万円使いました。または、航空券は132,180円、海外保険は9,680円、危機管理費は6,480円でした。またビザを取得するには5,400円ぐらいかかりました。

その他・後輩へのアドバイス

出発前（どの様な準備が必要でしたか）

出発する前に英語のスキルを身につけることが大事だと思います。シンガポールは英語圏なので学生の英語のレベルが高く皆んなが授業で積極的に参加している。英語のスキルを身につけるためにTOEFLで60点以上取れなければなりません。または、シンガポールについて知識を持つこと例えば社会と文化のことを学びました。この知識は友達作りに役に立ちました。最後クレジットカードとデビットカードを作ることが必要でした。

研修中（どの様に学習に取り組むと良いか、余暇の過ごし方）

私は留学中にしっかり勉強出来るために時刻表を作ってそれに従って行動しました。大体毎日課題と学習含めて2時間ぐらい勉強しました。また授業が終わってから学校で勉強したことを復習したおかげで内容が良く分かるようになった。また授業中で理解できないことがあった時すぐ先生に質問して現地で問題を解決をする精神でした。

研修中に困ったことはなんですか。また、どの様に対応しましたか。

研修中に困ったことはシンガポール人の英語を理解することでした。シンガポール人は独特な英語の発音を持っています。私は発音を理解するために二週間かかりました。シンガポール人の英語の発音に慣れるために私はシンガポール人の友達と話したり先生の話がわからない時質問したりしました。

自由記入欄（次年度以降の後輩へ向けてのメッセージなど）

交換留学前の最も重要なことは、英語力を伸ばすことです。 そのためには、TOEFL試験をクリアする必要があり、また試験だけではなく話す力も身につけることが必要だと思います。また英語の能力を増やすために本を読んだり英語の様々な番組を見たりすることが大事である。また 留学は、準備も含めて決して楽しいことばかりではなく、大変なことの方が多いかと思います。でも、それを乗り越えることで必ず自信になりますし、大きく成長できます。最後まで諦めずに頑張ってください